

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,628	18,090
受取手形及び売掛金	18,356	20,592
その他	3,438	3,007
貸倒引当金	△54	△49
流動資産合計	44,368	41,641
固定資産		
有形固定資産	6,634	6,505
無形固定資産		
のれん	514	845
その他	2,805	2,624
無形固定資産合計	3,320	3,470
投資その他の資産		
その他	6,595	6,750
貸倒引当金	△13	△14
投資損失引当金	△341	△341
投資その他の資産合計	6,240	6,394
固定資産合計	16,195	16,370
資産合計	60,564	58,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,585	719
短期借入金	2,075	2,069
1年内償還予定の社債	128	128
未払費用	10,777	11,310
未払法人税等	987	249
賞与引当金	1,479	845
役員賞与引当金	7	6
資産除去債務	4	6
その他	8,283	8,801
流動負債合計	25,329	24,137
固定負債		
長期借入金	5,269	4,826
退職給付引当金	910	835
資産除去債務	722	714
その他	2,690	2,265
固定負債合計	9,592	8,642
負債合計	34,922	32,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	6,054	6,054
利益剰余金	13,425	13,162
自己株式	△3,493	△3,493
株主資本合計	20,986	20,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135	149
為替換算調整勘定	△117	△129
その他の包括利益累計額合計	17	20
少数株主持分	4,637	4,489
純資産合計	25,642	25,233
負債純資産合計	60,564	58,012

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	44,574	45,901
売上原価	36,432	37,412
売上総利益	8,142	8,488
販売費及び一般管理費	7,831	7,886
営業利益	310	601
営業外収益		
受取利息	3	3
持分法による投資利益	13	—
補助金収入	60	24
その他	13	18
営業外収益合計	90	47
営業外費用		
支払利息	39	42
コミットメントフィー	16	13
支払手数料	10	22
持分法による投資損失	—	3
その他	15	6
営業外費用合計	81	88
経常利益	319	560
特別利益		
持分変動利益	3	—
貸倒引当金戻入額	5	—
その他の引当金戻入額	25	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	7
投資有価証券評価損	4	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	480	—
特別損失合計	488	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134	553
法人税、住民税及び事業税	170	206
法人税等調整額	79	112
法人税等合計	250	318
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△385	234
少数株主利益	86	123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△471	111

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△385	234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	15
為替換算調整勘定	△29	△12
その他の包括利益合計	△77	3
四半期包括利益	△462	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△546	114
少数株主に係る四半期包括利益	84	124

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
減価償却費	537	507
のれんの償却額	86	78

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年7月20日 取締役会	普通株式	187	500	平成22年5月31日	平成22年8月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月20日 取締役会	普通株式	374	1,000	平成23年5月31日	平成23年8月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注)4
	HRソリューション								
	エキスパートサービス (人材派遣)、イン ソーシング (委託・請 負)他 (注)1	アウトプレ ースメント (再就職支 援)	アウトソー シング						
売上高									
外部顧客への売上高	38,004	2,634	3,348	43,987	404	44,392	182	44,574	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	—	56	271	492	763	△763	—	
計	38,219	2,634	3,404	44,259	897	45,156	△581	44,574	
セグメント利益	356	312	285	955	41	996	△685	310	

- (注) 1 「エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)他」には、エキスパートサービス(人材派遣)、インソーシング(委託・請負)、HRコンサルティング、プレース&サーチ(人材紹介)、グローバルソーシング(海外人材サービス)の各事業を含んでおります。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアードを含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額△685百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益182百万円及び全社費用872百万円が含まれております。全社収益は、主に当社における官公庁からの業務委託に係る売上高です。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用です。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	HRソリューション			計				
	エキスパートサービス (人材派遣)、イン ソーシング (委託・請 負)他 (注) 1	アウトプレ ースメント (再就職支 援)	アウトソ ーシング					
売上高								
外部顧客への売上高	39,692	2,497	3,370	45,560	340	45,901	—	45,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	4	57	156	549	706	△706	—
計	39,787	2,501	3,428	45,717	889	46,607	△706	45,901
セグメント利益	643	361	372	1,376	21	1,398	△796	601

- (注) 1 「エキスパートサービス（人材派遣）、インソーシング（委託・請負）他」には、エキスパートサービス（人材派遣）、インソーシング（委託・請負）、HRコンサルティング、プレース&サーチ（人材紹介）、グローバルソーシング（海外人材サービス）の各事業を含んでおります。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフソリューション、パブリックソリューション、シェアードを含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額△796百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用799百万円が含まれております。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用です。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)	△1,260円11銭	297円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失(△) (百万円)	△471	111
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失(△)(百万円)	△471	111
普通株式の期中平均株式数(株)	374,502	374,502
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	297円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	—	△0
(うち、連結子会社の潜在株式による調整額)	(—)	(△0)
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。